

## 「昭和感」のあるアナウンス

昔のテレビ番組の出演者の発話からは、現代人の発話とは異なる独特の雰囲気を感じる。私は特に、ピッチに特徴があるように感じる。WEB上でも同様の書き込みが見られ、私以外にもこのように感じている人がいることが分かる。そこで、方言の影響が少ないアナウンサーの音声を用い、時代による発話のピッチの変化を調査する。

## 調査対象

- ・1940年代から2020年代のニュース音声
- ・中高型、平板型、尾高型で高い拍が3拍以上連続するアクセント句

## 分類方法

### 【上昇】

- ・最も高い箇所が4拍目以降

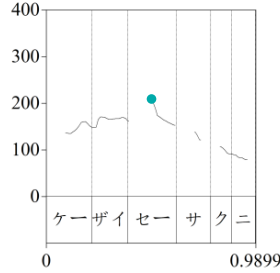


図1「経済政策に」

### 【保ち】

- ・最も高い箇所が2-3拍目
- ・下降幅が全音※より狭い

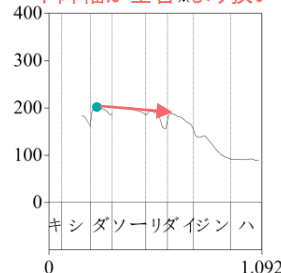


図2「岸田総理大臣は」

### 【下降】

- ・最も高い箇所が2-3拍目
- ・下降幅が全音※より広い

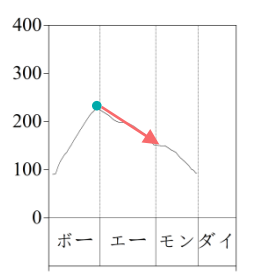


図3「防衛問題」

※12平均律音程の周波数 - 高精度計算サイト (casio.jp) を使用

## 調査結果

表1 1940-2020年代のニュース音声のピッチ

アクセント型	年代	1940年代			1960年代			1980年代			2000年代			2020年代		
		資料名	1945	1947	1948	1960	1965	1968	1980	1980	1984	2000	2000	2006	2021	2021
中高型	上昇	2	0	1	0	0	0	1	0	1	8	4	3	10	11	0
	保ち	5	3	5	2	7	3	4	3	1	9	8	14	17	26	14
	下降	7	5	4	8	8	11	12	11	7	0	7	9	0	2	3
	計	14	8	10	10	15	14	17	14	9	17	19	26	27	39	17
平板型	上昇	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
	保ち	6	6	4	2	0	2	2	0	3	9	3	0	7	7	5
尾高型	下降	19	7	7	12	9	8	13	20	5	2	11	9	6	5	2
	計	25	13	13	14	9	10	15	20	8	12	14	9	13	13	8

ほとんどの資料で下降が最も多い

全ての資料で  
下降が最も多い

中高型では全ての資料で保ちが多い  
平板・尾高型でも保ちが増加傾向

### 【調査資料】 資料名:「番組名」放送局(伝え手・性別)

**1940年代** 1945硫黄島:「硫黄島玉砕」NHK(男) / 1947貿易:「再開近し 貿易の現状は?」中日映画社(男) / 1948解説:「ニュース解説(ラジオ)」NHK(女)  
**1960年代** 1968大雪:「17年ぶりに大雪」中日映画社(男) / 1960デモ:「60年安保闘争」NHK(男) / 1964五輪:「1964年東京五輪までに建設工事の仕上げ」NHK(男)  
**1980年代** 1984グリコ:「グリコ・森永事件」NHK(男) / 1980選挙:「衆・参ダブル選挙スタート」中日映画社(男) / 1984土砂:「長野県西部地震」NHK(男)  
**2000年代** 2000元旦:「2000年1月1日のニュース」TBS(男) / 2000雪印:「雪印乳業食中毒事件」NHK(男) / 2006ライブ:「ライブドア・堀江社長 粉飾決算で逮捕」NHK(男)  
**2020年代** 2021三條:「ニュース(2021/1/4)」 / 「ニュース(2021/10/5)」NHK(三條雅幸・男) / 2021塩田:「NHKニュース おはよう日本 衆院選19日公示 政治決戦へ(2021/10/5)」NHK(塩田信二・男) / 2021佐藤:「ニュース・気象情報(2021/10/4)」NHK(佐藤俊吉・男)

## 変化が起こった理由の考察

### ①規範意識の変化

表2 文献から読み取れる意識変化

1980年代	2000年以降
個性は出すべきではない	個性や専門知識を求める
美しく正しい日本語	「きれいに読む」ことを推奨しない
下降させるべき	「高さをできるだけ保つ」イメージ
下降をやめるタイミングを限定(息が続かない場合)	下降をするタイミングを限定(ひとつながりであるように発音する場合等)

### ②アナウンサーではない「キャスター」の登場

『ニュースセンター9時』  
(通称NC9・1974放送開始)  
磯村尚徳氏  
・東京都出身  
・元記者  
アナウンスの口調を見直すきっかけに

表3 磯村氏の音声のピッチ

アクセント型	中高	平板
上昇	3	0
保ち	4	13
下降	5	11
計	12	24

【保ち】が多く見られアナウンサーの2000年以降の音声に類似

【下降】はアナウンサー特融のものであり、「キャスター」の活躍が増えるにつれて、アナウンサーでも【保ち】が多くなった可能性

### 【アナウンス関連参考文献】

テレビ朝日アナウンス部(2003)『アナウンサーの話し方教室』角川書店 日本放送協会(1966)『日本語 発音アクセント辞典』日本放送出版協会日本放送協会(1980)『NHK 新アナウンス読本』日本放送出版協会 日本放送協会(1985)『NHK アナウンス・セミナー』日本放送出版協会 長谷川勝彦(2011)『メディアの日本語 音声はどう伝えているか』万葉舎 NHKアナウンス・セミナー編集委員会(2005)『新版NHKアナウンス・セミナー』放送の現場から』日本放送出版協会 NHK放送研修センター・日本語センター(2016)『誰からも好かれる NHKの話し方』KADOKAWA NHK放送文化研究所(2016)『NHK日本語発音アクセント新辞典』NHK出版 「磯村尚徳 | NHK人物録 | NHKアーカイブス」 「ニュースセンター9時 | NHK放送史(動画・記事)」